



和気藹々、久々のゴルフ会開催

塩出 栄(RNB)

四国民放クラブは、ようやく秋らしくなった10月11日、久々のゴルフコンペを開きました。会場は高知や徳島からも1時間半で集合できる、新居浜市の「滝の宮カントリークラブ」。

会員14人が参加、旧交を温めました。

競技はWペリアで行い上位者は次のとおり。

- 優勝 中越 弘(KUTV)
- 準優勝 石田 征宏(RKC)
- 三位 宮島 清文(JRT)
- 四位 糸山 健一郎(さんさん)
- 五位 長江 進(JRT)

ベスグロは86で回った紅一点の亀山陽子さん(RNC)(賞品なし)

また特筆すべきは、参加者最高齢91歳の上村基さん(RKC)がドラコン2本を独り占め、若い者に劣らない健在ぶりを見せて

くれました。

ちなみに当日の参加賞は「民放クラブ」前号四国ページ白方氏が紹介した『四国遍路発祥地米』(ルーツ米)5kgが供されました。



参加賞の「四国遍路発祥地米」5kg

振り返ってみれば、平成12年9月25日、四国民放クラブが発足して第1回のゴルフ大会には、ゴルフ愛好者59人のうち34人が参加しました。

当時のゴルフ部会長、白井忠彦さん(RNC)が開会の挨拶で「同じ釜の飯を食った仲間同士、スポンサーや上司に気兼ねしないゴルフを存分に楽しませよう」とおっしゃったのは、民放クラブ結成趣旨そのもののお言葉であったと、当時が懐かしく思い出されます。



参加者14人中7人が80歳以上。まだまだ元気です。